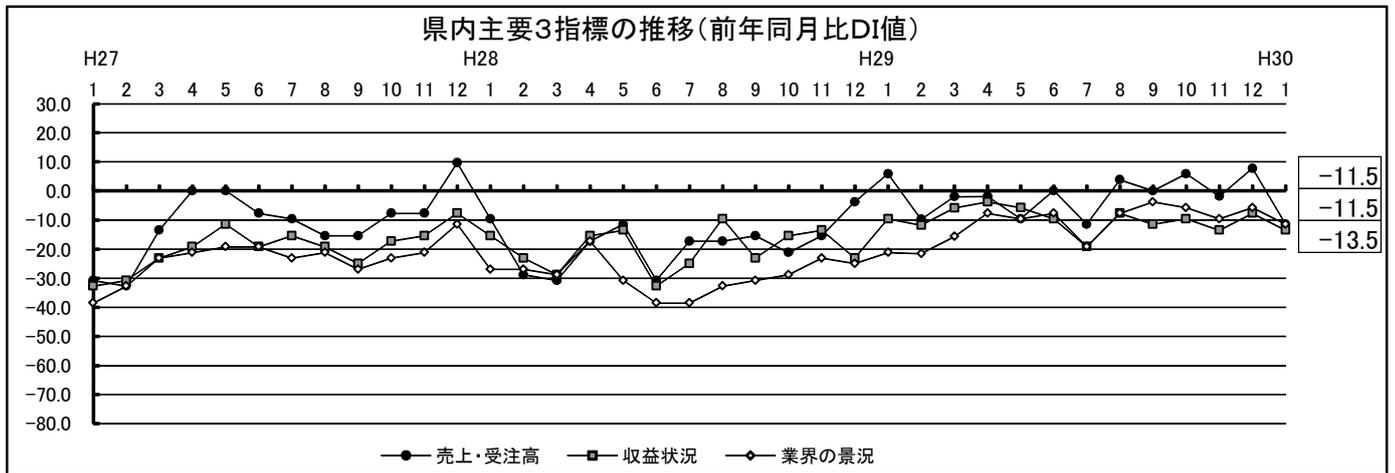


# 中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年1月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

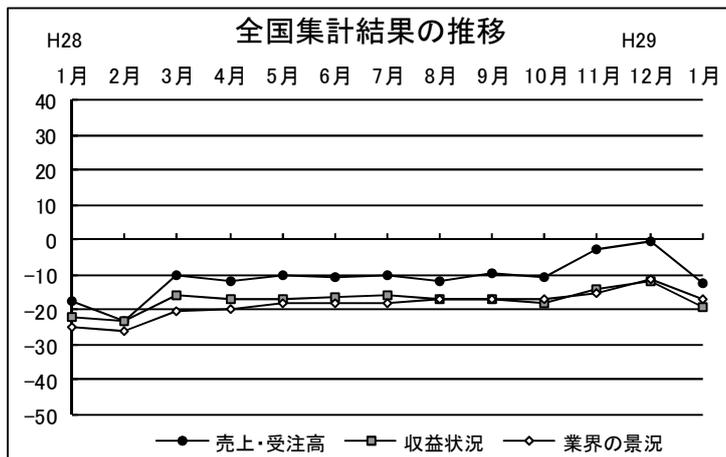
- 1月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「雇用人員」が上昇し、「売上高」「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より19.2ポイント下降の-11.5ポイント、「収益状況」が5.8ポイント下降の-13.5ポイント、「業界の景況」が5.8ポイント下降の-11.5ポイントであった。
- 前月比では主要3指標をはじめ多くの数値が大きくマイナスに転じ、下落幅が著しい結果となった。記録的な大寒波や雪害などの天候不順や国内外の経済情勢の変化などに大きく影響を受けるなど、製造・非製造ともに経営環境は安定性を欠いている。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-11.5	-19.2	-12.4	-12.3
収益状況	-13.5	-5.8	-19.1	-7.4
業界の景況	-11.5	-5.8	-16.8	-5.3

## 売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より19.2ポイント下降の-11.5ポイントとなった。全国においては、前月より12.3ポイント下降の-12.4ポイントとなった。



## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より5.8ポイント下降の-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より7.4ポイント下降の-19.1ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.8ポイント下降の-11.5ポイントとなった。全国においては、前月より5.3ポイント下降の-16.8ポイントとなった。

## -概 況-

1月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「雇用人員」が上昇し、「売上高」「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「業界の景況」が下降した。主要3指標は、「売上高」が前月より19.2ポイント下降の-11.5ポイント、「収益状況」が5.8ポイント下降の-13.5ポイント、「業界の景況」が5.8ポイント下降の-11.5ポイントであった。前月比では主要3指標をはじめ多くの数値が大きくマイナスに転じ、下落幅が著しい結果となった。記録的な大寒波や雪害などの天候不順や国内外の経済情勢の変化などに大きく影響を受けるなど、製造・非製造ともに経営環境は安定性を欠いている。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が低下し、非製造業で6業種中4業種が低下した。「収益」は製造業で1業種が低下し、非製造業で2業種が上昇、1業種が低下した。「景況」は製造業で7業種中2業種が上昇、3業種が低下し、非製造業で2業種が低下した。

1月度の調査は全般的に県内のみならず全国的に厳しい結果となった。天候不順や経営情勢の変化は尤も予測のしづらいものであるが、そのような不測の事態にも対応できるような環境を整備し、安定経営を目指すことが重要である。2月度の回復、巻き返しに期待したい。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	×	△	△	△	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	×	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	×	△	×	△	△	△	△	×	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	×	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	×	△	△	×	×	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	○	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	○	△	—	△	○
その他	×	—	○	△	△	△	—	○	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-50.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-50.0
繊維・同製品	-25.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	-50.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0	-75.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
一般機器	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	-16.0	-28.0	-8.0	-4.0	-16.0	-16.0	-16.0	-12.0	-16.0
卸売業	-33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-57.1	-42.9	28.6	-14.3	-42.9	-42.9		0.0	-28.6
サービス業	33.3		0.0	0.0	-33.3	16.7		50.0	-16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		20.0	-20.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	50.0
その他	-50.0		50.0	0.0	0.0	0.0		50.0	0.0
非製造業	-7.4	-30.0	11.1	-3.7	-11.1	-7.4	18.5	-7.4	
全体	-11.5	-28.6	1.9	-3.8	-13.5	-11.5	-16.0	3.8	-11.5

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	前月比
売上高	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-19.2
在庫数量	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-25.7
販売価格	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	-1.9
取引条件	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	0.0
収益状況	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-5.8
資金繰り	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-3.8
設備操業度	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	-24.0
雇用人員	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	3.8
業界の景況	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-5.8

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	-50.0	-50.0	-50.0	0.0	-75.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-75.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0
一般機器	-25.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	-16.0	-24.0	-4.0	0.0	-12.0	-4.0	-24.0	-4.0	-4.0
卸売業	-100.0	-33.3	-33.3	-33.3	0.0	0.0		0.0	-33.3
小売業	-14.3	-28.6	14.3	0.0	14.3	-14.3		-14.3	0.0
サービス業	-16.7		0.0	16.7	-33.3	0.0		33.3	-16.7
建設業	0.0		0.0	0.0	20.0	0.0		20.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		50.0	0.0
非製造業	-22.2	-30.0	0.0	0.0	0.0	-3.7		11.1	-7.4
全体	-19.2	-25.7	-1.9	0.0	-5.8	-3.8	-24.0	3.8	-5.8

## 特記事項

情報連絡員報告（平成30年1月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	いよいよ吟醸、大吟醸造りの真っ最中となった。これから「旨いお酒」が出来上がってくる。
綱・網・レース・繊維粗製品製造業	都市圏での繊維製品の消費は比較的好調と伝わってくる。大幅な売上増とはいかないが、全体的に積極的な動きも感じられている。
外衣・シャツ製造業	業界の景況について好転としているが、春夏物がスタートして若干動き始めた感はあるものの実際好転とまでは行っていない感触。
一般製材業	1月も前年に比べ、加工坪数が減少してしまった。11月が悪かった分、12月で取り戻した感があったが、また1月で減少してしまったことは非常に惜まれる。組合事業なので販売価格、取引条件等の変化はないとしても加工坪数の減少は売上高減、資金繰り、設備操業度に直結するので何とか各組合員に物件確保をお願いしているところである。
木材・木製品製造業	材料を輸入し、加工販売を行っている中小企業には厳しい状況が続いている。大手は最高益になり潤っているようであるが、中小企業はその恩恵が少なく感じる。賃金アップも良いことだが、中小企業の現状には合っていないと思われる。中小企業への対策を希望する。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	砕石、土質関係は、外環などの工事が増加傾向にある。また、鳥インフルエンザの予防で、消石灰の出荷が1月末より始まったが、2月配送がほとんどである。オリンピック関連による石灰（鉄鋼原料）の動きは徐々に始まってきているが、本格的な動きはまだである。売上高も増加というよりも微増程度である。
砕石製造業	出荷量（4月～12月）は、昨年同期比で6.4%増加しており、堅調に推移している。
陶磁器製造業	雪の影響のため売上が減少した。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車部品関連…自動車関連は穏やかに上げ基調。但し、リーマンショック以降販売価格はほぼ変わっていない。</li> <li>・機械設備関連…半導体関連は好調。他業種は横ばいか。</li> <li>・プレス金型関連…自動車部品関連は穏やかに上向いている。</li> </ul>
金属製品製造業	最近、人手不足の話があちこちで聞かれる。
一般機械器具製造業	建材業界は景況感があり活気付いている。自動車業界は以前からするとかなり減少局面にある。全体的には落ち着いた状況には変わらない。人手不足については未だ逼迫感はない。
一般機械器具製造業	1月の報告は前年同月と比較し、全般的に売上高等は横ばい、一部仕入単価の上昇ありという前月同様の報告を受けている。全般的には不変という状況であった。注文量はやや増えている感覚はあり、相変わらず人手不足により納期問題、増産対応が厳しいという報告も受けている。

各種商品卸売業	業況としては前年同月と比べ大きな変化はない。景気回復局面が、高度成長期の「いざなぎ景気」を超え、戦後2番目の長さとなったと言われているが、団地内企業5社から前年と比べ、売上高の増減について聞いてみた結果、微増は1社に留まり、ほぼ例年並みが3社、微減が1社であった。全体的に見ると売上高は概ね前年並みといったところだが、大部分の企業で仕入価格高騰や人手不足による人件費増などにより利益を計上するのに苦慮しているとのことであった。景気回復の広がりを実感するに至るまでにはまだ時間がかかりそうである。
食肉小売業	年明けは売上が落ちているが、例年ベースよりは良い結果となっている。仕入価格も低下してきているため、粗利は良くなったように感じる。
中古自動車小売業	良質車の発生は変わらず減少傾向。所有者の代替サイクルが長期化しているほか、需要期で価格も上昇気味である。販売店の格差が広がっている。
各種商品小売業	週末の天候の悪化により、人手も少なく大変厳しい期であった。近所にある大型店のテナント撤退等も大きく影響した。
各種商品小売業	正月を含め、月前半は前年を超える売上を達成できていたが、後半の寒波・積雪の影響を受けた結果、大幅に数字を落としてしまった。また、月末に開催された「割引祭」も雪予報のタイミングと重なってしまい、前年割れを後押しする最大の要因となった。不安定な天気が続く中、春へ向けて辛抱が必要かと思う。
花・植木小売業	1月は寒い日が続いたこともあり、客の出足が鈍く苦戦を強いられてきたが、そこへきて22日には関東では4年ぶりとなる大雪に見舞われ、小売には厳しい状況となった。また、関東の雪の影響を避けて関西市場へ出荷する産地が多く、市場の入荷量は前年比で10～13%の大幅減となった。業務関係ではプライダルは時期的に少なく、葬儀を中心とした動きとなった。
理容業	組合員の高齢化により、廃業による脱退者が目立つ。後継者不足が深刻な問題となっている。
自動車整備業	1月～3月自動車業界では増販の時期であるため、売上増を期待したものの、メーカーの困り込みの影響か売上は伸び悩んでいる。
ビルメンテナンス業	事業高が増える一方、人件費も増えているため、収益状況は単月で悪化した。ビルメンテナンスの事業高が減少する一方、構内作業請負の事業高が増加している。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。新年会の需要に関しては、少しずつ戻ってきているように感じた。
一般土木建築工事業	工事発注が少ない為、全体の売上が減少している。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは13%減、敷物用ラベルは53%減、壁装用ラベルは1%増であった。本年度4月～1月累計では、カーテン用ラベル21%増、敷物用ラベル9%増、壁装用ラベル26%増であった。平成29年4月～平成30年1月の支給金額では14%増であった。分譲一戸建は増加したが、賃家と分譲マンションは減少した。

<p>一般貨物自動車運送業</p>	<p>燃料価格が毎年上昇している中、人手不足、長時間労働是正の対応など多数の問題を抱えており厳しい経営環境である。</p>
<p>貨物軽自動車運送業</p>	<p>大雪や運送業界におけるドライバー（人手）不足などの影響もあり、急送品の輸送量が増大した。また、栃木県名産いちご（とちおとめやスカイベリー）など、輸出向け農産物が増大している。全般的に貨物の輸送量は増加傾向にあり、今後も当分の間、堅調に推移することが予想されるが、ドライバー（人手）不足が大きな課題となっている。</p>
<p>一般乗用旅客自動車運送業</p>	<p>1月22・23日の南岸低気圧に伴う大雪のため、雪がやんでも道路状況の悪さか終日タクシーの依頼があり、多少の売上増につながった。</p>
<p>大谷石採石業</p>	<p>前年同比で10～15%減少した。採石の人員を少し増やしたとの話があった。</p>